

スペイン政権発足の組み合わせは3つ

～11月再選挙の可能性も～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

◇ 社会労働党のサンチェス首相は23日、政権発足に向けた初回の信任投票に臨む。政権発足の組み合わせは3つ。何れの場合も反緊縮左派・ポデモス連合の信任が不可欠。そのうえで、やや右派寄りの中道政党・市民が投票を棄権するか、カタルーニャの左派系地域政党の信任或いは投票棄権が必要となる。連立協議は難航が予想され、9月23日の期限切れ近くまでずれ込むと予想。そこでまとまらなければ、11月中旬までに再選挙が行われる。

4月末の総選挙後も政権発足ができずにいるスペインでは、最多議席を獲得したサンチェス首相が率いる中道左派・社会労働党 (PSOE) が、23日に政権発足に向けた信任投票に臨む (図表1)。初回信任投票での政権発足には、下院の絶対過半数 (定数350の過半数=176) の賛成が必要となる (同国憲法第99条第3項)。初回投票で信任されない場合、2日以内に同一首相候補への二回目の信任投票を行い、単純過半数 (不在票や棄権票を除いた有効投票で信任が不信任を上回る) の賛成で信任される。二回目の投票でも信任されない場合、別の首相候補を含めた信任投票の可能性が模索される (同条第4項)。初回投票から2ヶ月以内に下院の信任を得られる首相候補がない場合、上下両院は解散され、再選挙が行われる (同条第5項)。総選挙は議会の解散から30日以上、60日以内に行われ、総選挙から25日以内に新議会が召集される (第68条第6項)。

(図表1) スペイン総選挙の結果

政党	略称	イデオロギー (自治州)	得票率	議席
社会労働党	PSOE	中道左派	28.68	123
国民党	P P	中道右派	16.70	66
市民	C' s	中道右派	15.86	57
ポデモス連合	U P	左派	14.31	42
ボックス	<u>VOX</u>	<u>右派</u>	<u>10.26</u>	<u>24</u>
カタルーニャ共和主義左翼	E R C	左派系 (カタルーニャ)	3.91	15
ともにカタルーニャのために	JxCat	右派系 (カタルーニャ)	1.91	7
バスク民族党	P N V	右派系 (バスク)	1.51	6
<u>バスク統一党</u>	<u>EH Bildu</u>	<u>左派系 (バスク)</u>	<u>0.99</u>	<u>4</u>
カナリア人民党	C C	右派系 (カナリア)	0.53	2
統一ナバーラ	N A +	右派系 (ナバーラ)	0.41	2
コンプロミス	Compromis	左派系 (バレンシア)	0.66	1
カンタブリア地域主義党	P R C	左派系 (カンタブリア)	0.20	1
				350

注：赤が左派、青が右派、赤字下線が連立から除外する政党
 出所：スペイン内務省資料より第一生命経済研究所が作成

政権発足を目指すサンチェス首相は、国政レベルで初の議席を獲得した新興右派ポピュリスト（極右とも称される）・ボックス（VOX）、バスクの左翼愛国主義地域政党・バスク統一党（EH Bildu）を除く全政党と協議するとしている。政権発足が可能な組み合わせは、①社会労働党の前政権の発足に協力した左派系ポピュリスト・ポデモス連合（UP）が信任し、前政権の発足に反対した中道リベラル政党・市民（C's）が投票を棄権する、②ポデモス連合が信任したうえで、バスク統一党を除く左派系地域政党が信任する、③ポデモス連合が信任、前政権の発足に協力したバスクの右派系地域政党・バスク民族党（PNV）が信任したうえで、カタルーニャの左派系地域政党・カタルーニャ共和主義左翼（ERC）が投票を棄権する—以外に見当たらない（図表2）。

（図表2）スペインの政権発足が可能な連立・閣外協力の組み合わせ

	信任	不信任	棄権
①ポデモス連合が信任、市民が棄権	165	128	57
②ポデモス連合、EH Bilduを除く左派系地域政党が信任	182	168	0
③ポデモス連合、PNVが信任、ERCが棄権	173	162	15

注：二回目以降の信任投票では不在や棄権を除く単純過半数で信任

出所：スペイン内務省資料より第一生命経済研究所が作成

何れの場合もポデモス連合の信任が不可欠となる。そのうえで、市民が投票を棄権しない限り、カタルーニャの地域政党（少なくとも左派のERC）の信任或いは投票棄権が必要となる。社会労働党は反緊縮色の強いポデモス連合の影響力拡大を懸念し、同党に閣僚ポストを配分しない緩やかな連携（閣外協力）を模索している。これに不満を持つポデモス連合は、今のところサンチェス首相を信任するかの明言を避けている。また、カタルーニャ独立問題への対応を巡って社会労働党と意見が対立し、このところ右傾化を強めている市民は、サンチェス首相に不信任票を投じることを示唆している。さらに、前政権の発足に協力したカタルーニャの地域政党は、ジュンケラス元州副首相（ERCの党首）等の裁判が開始されたのを受け、社会労働党政権への協力を取り止めた。

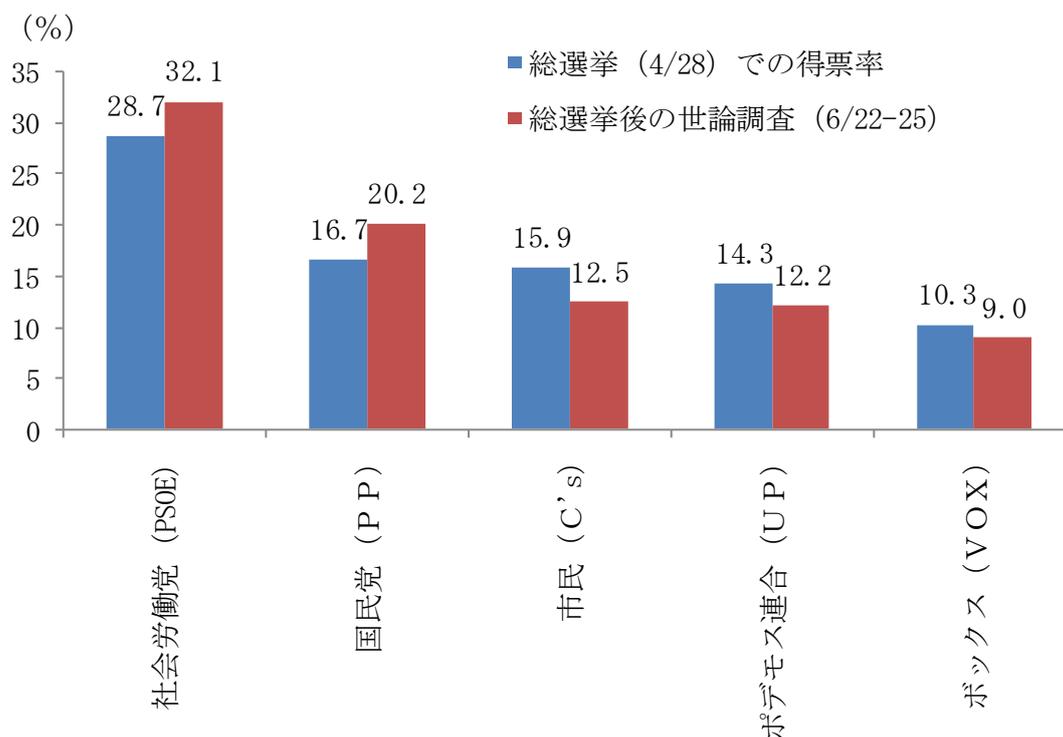
各党は政権発足での協力の見返りに、様々な要求をしてくることが予想される。ポデモス連合はより拡張的な財政運営や閣僚ポストの配分を、市民はカタルーニャの独立運動への厳しい対応や汚職対策を、PNVはバスクの自治拡大や手厚い予算配分を、ERCはカタルーニャ独立の是非を問う住民投票容認や独立指導者の訴追取り止めなどを求める可能性がある。連立や閣外協力に向けた協議の難航は避けられず、23日の初回投票や25日の二回目の投票で政権が発足する可能性は低い。

再選挙を回避する期限（初回投票から2ヶ月後の9月23日）間近に政権発足がずれ込むか、そのまま信任が得られず再選挙となるか、現時点でどちらに転ぶかの有力な手掛かりはない。総選挙後の世論調査では、社会労働党とかつての政権与党・中道右派の国民党（PP）の二大政党が支持を伸ばす一方で、ポデモス連合、市民、ボックスの新興勢力が支持を落としている（図表3）。社会労働党にとっては、再選挙で議席を上積みすれば、より少ない政党の協力で政権発足ができる。各党の要求を呑み、安易な妥協をする誘因は乏しい。他方、再選挙時に議席を失う恐れがあるポデモス連合や市民にしてみると、協力条件の要求水準を下げ、再選挙を回避しようとの誘因が働く。

再選挙で政治空白が続く場合、立法作業が停滞するが、日々の政権運営には大きな障害は出ない。

政権発足に漕ぎ着ける場合、どの党にどの程度の見返りを提供するかによって、財政運営やカタルーニャ問題を巡るインプリケーションが異なってくる。社会労働党がポデモス連合に全面的に譲歩することになれば財政運営は拡張的となり、ERCに全面的に譲歩すればカタルーニャの独立問題が燻り続けることになる。社会労働党は財政規律の遵守を約束しており、再選挙を恐れるポデモス連合が穏健な要求にとどめるのであれば、大幅な財政拡張は回避されよう。

(図表3) スペイン主要政党の支持率



出所：Electomania資料より第一生命経済研究所が作成

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。